

7. 精神障害者生活状況調査（家族）結果

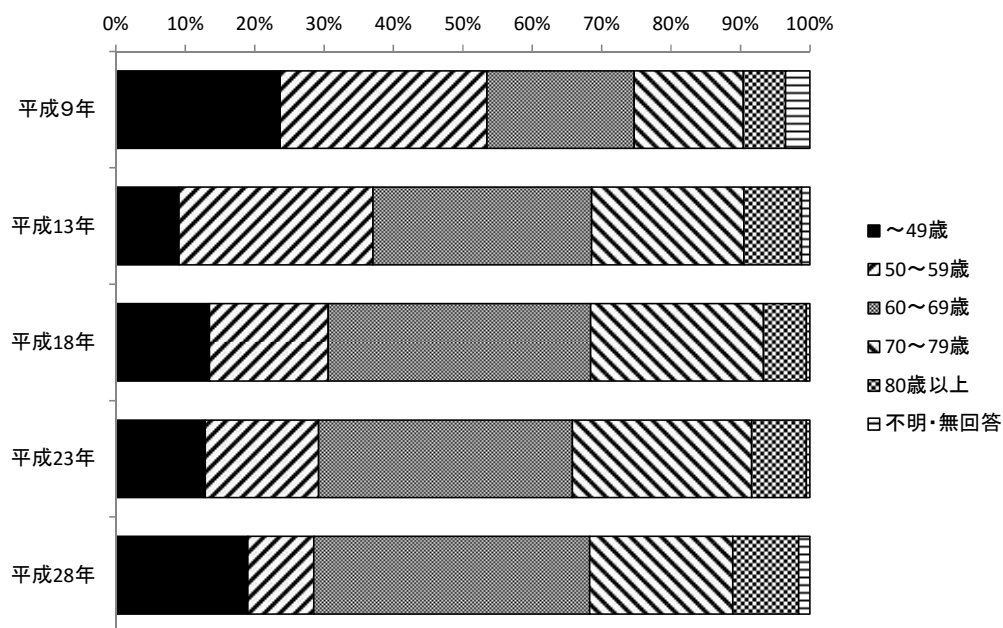
●年齢等

年齢構成は、「60～69歳」が39.7%と最も多く、次いで「70～79歳」が20.6%、「～49歳」が19.0%と続いている。

問1 家族の年齢

(単位：%)

	平成9年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
～49歳	23.7	9.1	13.5	12.9	19.0
50～59歳	29.8	28.0	17.1	16.3	9.5
60～69歳	21.2	31.5	37.8	36.6	39.7
70～79歳	15.7	22.0	24.9	25.8	20.7
80歳以上	6.1	8.3	6.2	7.9	9.5
不明・無回答	3.5	1.2	0.5	0.5	1.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	198	254	193	202	63



本人との関係では、「父・母」が38.1%で最も多く、次いで「夫または妻」が25.4%となっている。

問2 本人との関係

(単位：%)

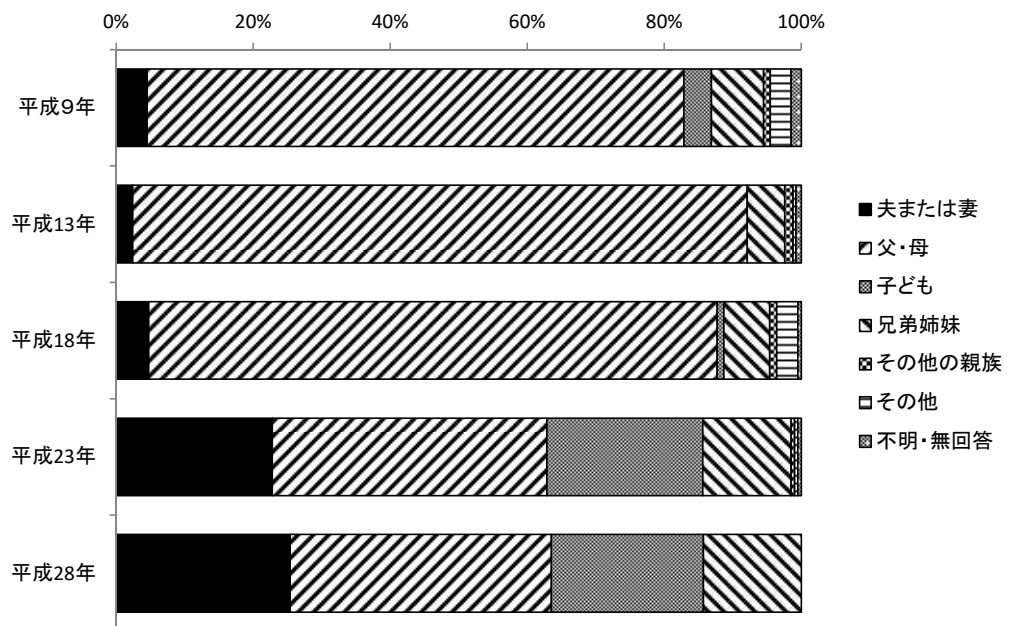
	平成9年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
夫または妻	4.5	2.4	4.7	22.8	25.4
父・母 *1	78.3	89.8	82.9	40.1	38.1
子ども	4.0	0.0	1.0	22.8	22.2
兄弟姉妹	7.6	5.5	6.7	12.9	14.3
その他の親族 *2	1.0	1.2	1.0	0.5	0.0
その他	3.0	0.4	3.1	0.5	0.0
不明・無回答	1.5	0.8	0.5	0.5	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	198	254	193	202	63

*1 平成9年, 13年は「父」「母」を足した数値

*2 平成9年は「兄弟姉妹の妻・夫」「祖父母」を足した数値

平成13年は「兄弟姉妹の妻・夫」「子の妻・夫」

「祖父母」を足した数値



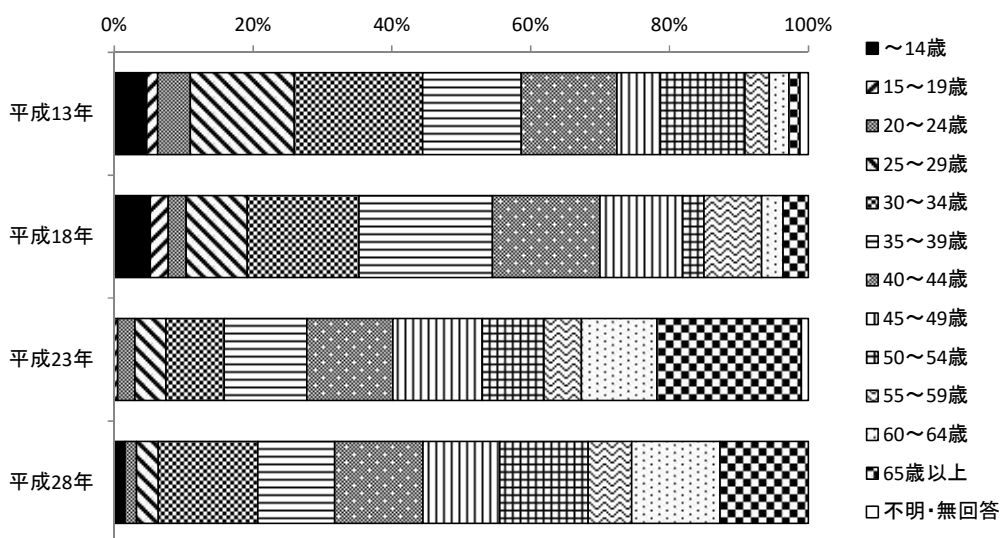
●本人の生活状況

本人の年齢については、「30～34歳」が14.3%で最も多く、次いで「40～44歳」「50～54歳」「60～64歳」「65歳以上」がいずれも12.7%などと続いている。

問3 本人の年齢

(単位：%)

	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
～14歳	4.7	5.2	0.0	1.6
15～19歳	1.6	2.6	0.5	0.0
20～24歳	4.7	2.6	2.5	1.6
25～29歳	15.0	8.8	4.5	3.2
30～34歳	18.5	16.1	8.4	14.3
35～39歳	14.2	19.2	11.9	11.1
40～44歳	13.8	15.5	12.4	12.7
45～49歳	6.3	11.9	12.9	11.1
50～54歳	12.2	3.1	8.9	12.7
55～59歳	3.5	8.3	5.4	6.3
60～64歳	2.8	3.1	10.9	12.7
65歳以上	1.6	3.6	20.8	12.7
不明・無回答	1.2	0.0	1.0	0.0
合計	100.0	100.0	100.0	100.0
n	254	193	202	63

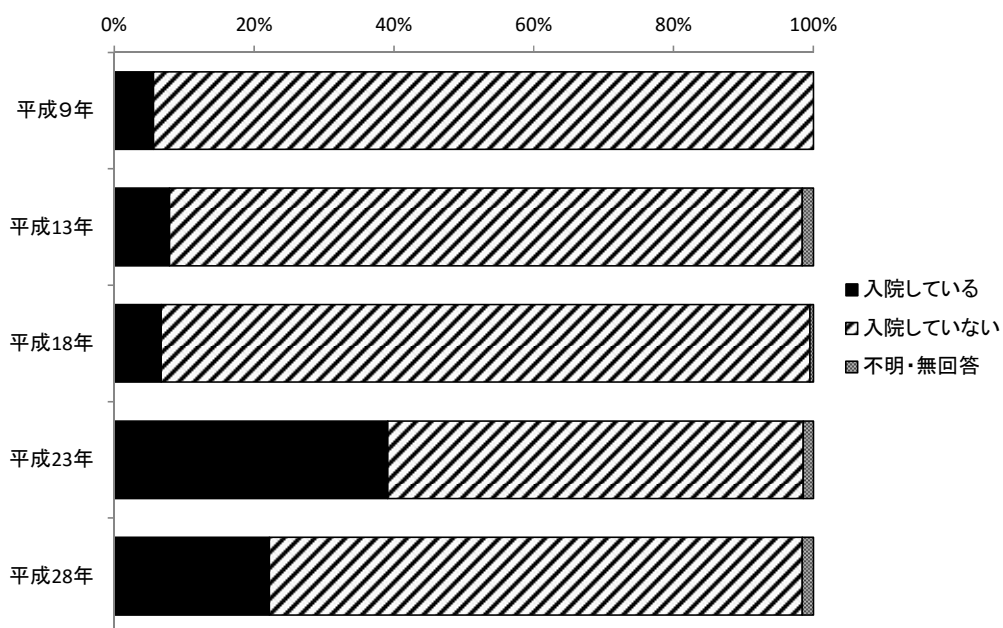


本人の入院状況については、「入院していない」が76.2%、「入院している」が22.2%となっている。

問4 入院の状況

(単位：%)

	平成9年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
入院している	5.6	7.9	6.7	39.1	22.2
入院していない	94.4	90.6	92.7	59.4	76.2
不明・無回答	-	1.6	0.5	1.5	1.6
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	198	254	193	202	63



本人が地域で生活していく上で必要とすること（複数回答）については、「話し相手や相談ができる仲間」が61.9%、「親身になって相談にのってくれる職員（障害者相談員・保健師・精神保健福祉士など）」が58.7%、「具合が悪くなったら、いつでも診察してくれる病院・診療所」が50.8%などとなっており、これらの比率が高くなっている。

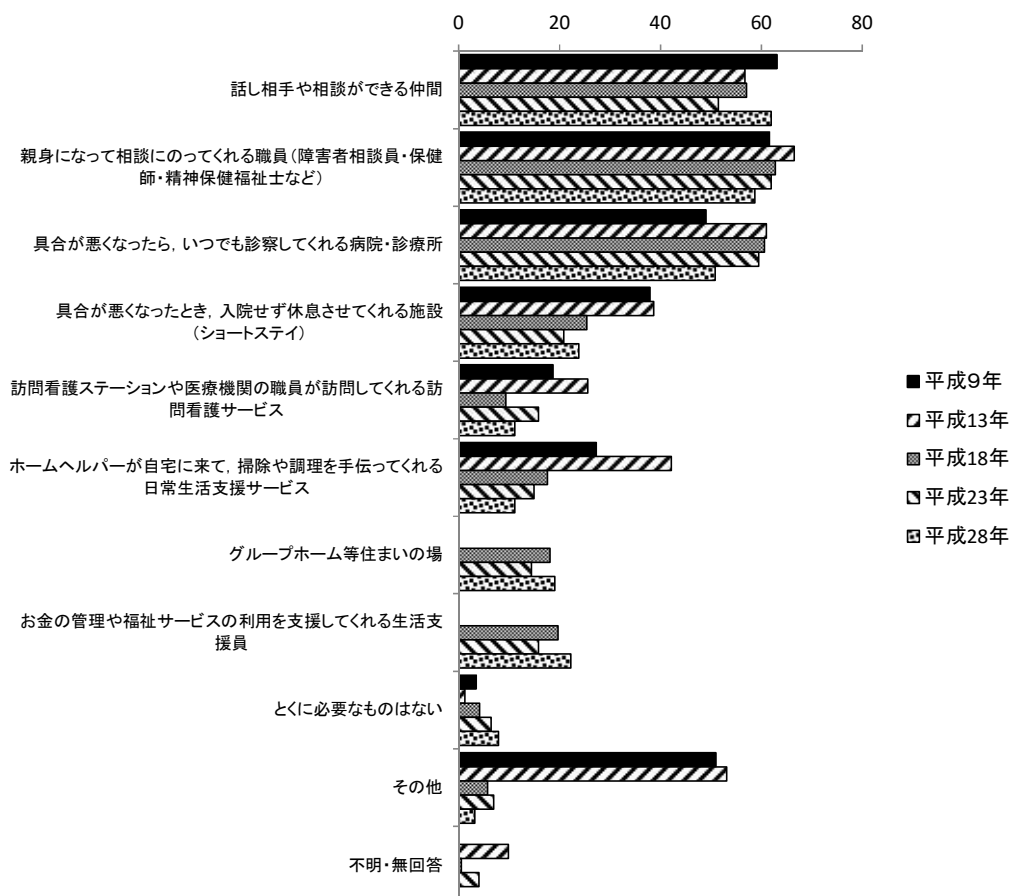
問7 地域で生活していく上で必要なこと（複数回答3つまで）*1

（単位：％）

	平成9年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
話し相手や相談ができる仲間	63.1	56.7	57.0	51.5	61.9
親身になって相談にのってくれる職員（障害者相談員・保健師・精神保健福祉士など）	61.6	66.5	62.7	61.9	58.7
具合が悪くなったら、いつでも診察してくれる病院・診療所	49.0	61.0	60.6	59.4	50.8
具合が悪くなったとき、入院せず休息させてくれる施設（ショートステイ）	37.9	38.6	25.4	20.8	23.8
訪問看護ステーションや医療機関の職員が訪問してくれる訪問看護サービス	18.7	25.6	9.3	15.8	11.1
ホームヘルパーが自宅に来て、掃除や調理を手伝ってくれる日常生活支援サービス	27.3	42.1	17.6	14.9	11.1
グループホーム等住まいの場	-	-	18.1	14.4	19.0
お金の管理や福祉サービスの利用を支援してくれる生活支援員	-	-	19.7	15.8	22.2
とくに必要なものはない	3.5	1.2	4.1	6.4	7.9
その他*2	51.0	53.1	5.7	6.9	3.2
不明・無回答	-	9.8	0.5	4.0	0.0
合計	312.1	354.6	280.7	271.8	269.7
n	198	254	193	202	63

*1 平成9年、13年は、あてはまるものをすべて選択

*2 平成9年、13年は「いつでも相談できる電話相談機関」と「自宅へ弁当を配達してくれる食事サービス」を含む



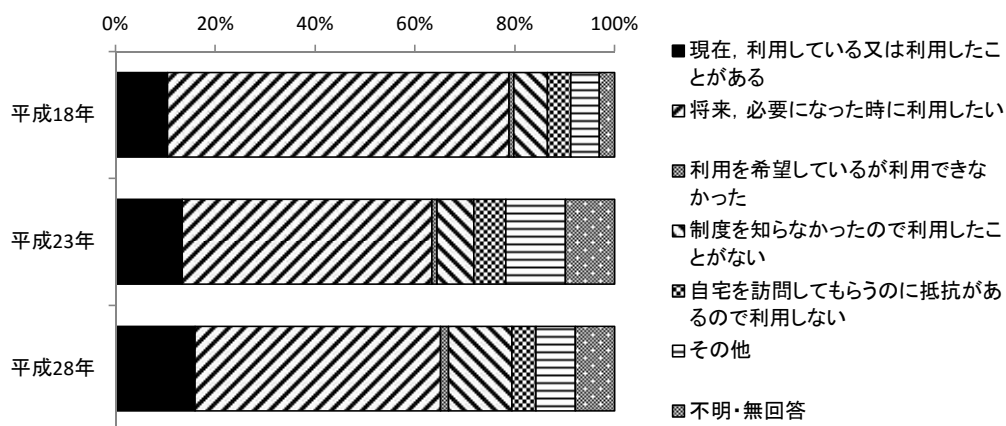
●障害福祉等に関するサービスの利用状況

福祉サービスの利用状況については、ホームヘルプサービス（居宅介護など）は、「将来、必要になった時に利用したい」は49.2%と全体の5割を占めており、「現在、利用している又は利用したことがある」が15.9%、「制度を知らなかったので利用したことがない」が12.7%と続いている。

問8 ホームヘルプサービス（居宅介護など）の利用状況

(単位：%)

	平成18年	平成23年	平成28年
現在、利用している又は利用したことがある	10.4	13.4	15.9
将来、必要になった時に利用したい	68.4	50.0	49.2
利用を希望しているが利用できなかった	1.0	1.0	1.6
制度を知らなかったので利用したことがない	6.7	7.4	12.7
自宅を訪問してもらうのに抵抗があるので利用しない	4.7	6.4	4.8
その他	5.7	11.9	7.9
不明・無回答	3.1	9.9	7.9
合計	100.0	100.0	100.0
n	193	202	63



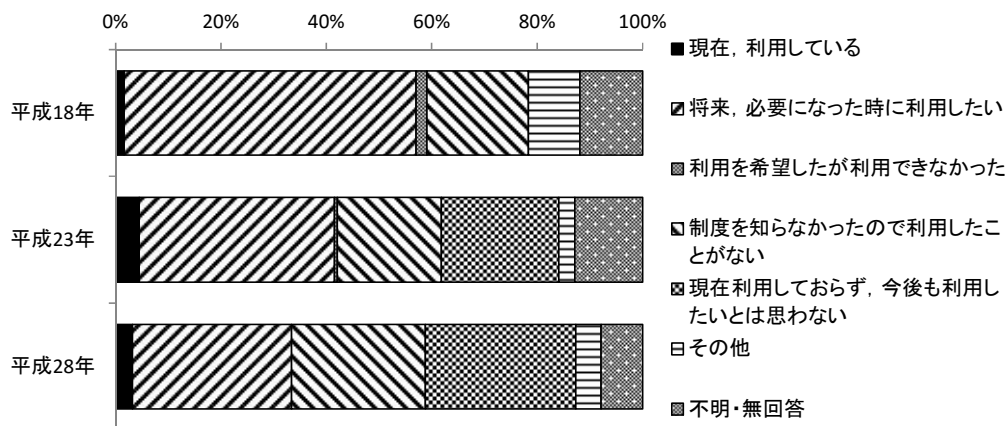
成年後見制度の利用状況については、「将来、必要になった時に利用したい」が30.2%と最も多く、次いで「現在利用しておらず、今後も利用したいとは思わない」が28.6%、「制度を知らなかったので利用したことがない」が25.4%などと続いている。

問 1 2 成年後見制度の利用状況

(単位：%)

	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年
現在、利用している	1.6	4.5	3.2
将来、必要になった時に利用したい	55.4	37.1	30.2
利用を希望したが利用できなかった	2.1	0.5	0.0
制度を知らなかったので利用したことがない	19.2	19.8	25.4
現在利用しておらず、今後も利用したいとは思わない*	-	22.3	28.6
その他	9.8	3.0	4.8
不明・無回答	11.9	12.9	7.9
合計	100.0	100.0	100.0
n	193	202	63

* 平成23年追加項目



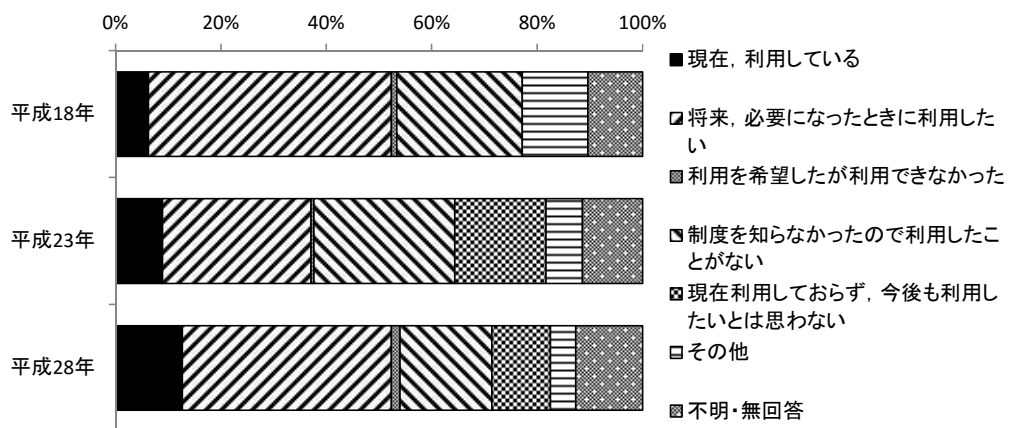
日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）の利用状況については、「将来、必要になったときに利用したい」が39.7%と最も多く、次いで「制度を知らなかったので利用したことがない」が17.5%、「現在、利用している」が12.7%などとなっている。

問 1 4 日常生活自立支援事業（地域福祉権利擁護事業）の利用状況

(単位：%)

	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年
現在、利用している	6.2	8.9	12.7
将来、必要になったときに利用したい	46.1	28.2	39.7
利用を希望したが利用できなかった	1.0	0.5	1.6
制度を知らなかったので利用したことがない	23.8	26.7	17.5
現在利用しておらず、今後も利用したいとは思わない*	-	17.3	11.1
その他	12.4	6.9	4.8
不明・無回答	10.4	11.4	12.7
合計	100.0	100.0	100.0
n	193	202	63

* 平成23年追加項目



●本人の仕事や活動状況

本人に向いていると思われる仕事については、その他を除いて、「家事・家業の手伝い」が22.2%で最も多く、次いで「パート・アルバイト」が20.6%、「就労移行（継続）支援事業所」が17.5%などと続いている。

問15 向いていると思われる就労形態

(単位：%)

	平成9年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
常勤	13.6	7.9	2.1	2.5	6.3
パート・アルバイト	10.1	9.1	5.2	10.9	20.6
自営 *1	-	0.0	1.0	2.5	0.0
家事・家業の手伝い *1	-	3.9	6.7	12.4	22.2
就労移行（継続）支援事業所 *2	65.7	51.2	39.4	16.3	17.5
職親（障害者に理解のある企業）*3	-	15.0	30.6	25.2	-
その他 *4	6.5	7.9	11.4	17.8	25.4
不明・無回答	4.0	5.1	3.6	12.4	7.9
合計	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
n	198	254	193	202	63

*1 平成13年以降以降追加項目

*2 平成9年は「福祉工場」「通所授産施設」「共同作業所」「高等技術専門学校」「職業訓練施設・訓練事業所」を足した数値

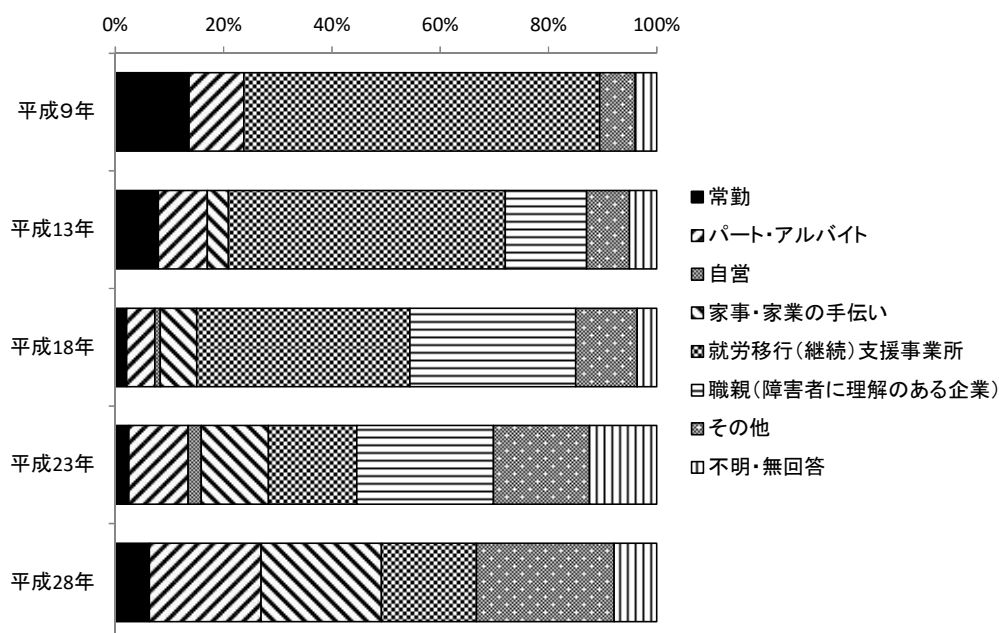
平成18年は「通所授産施設・共同作業所など」

平成23年は「就労移行（継続）支援事業所、授産施設、共同作業所など」

*3 平成13年～平成23年のみ追加項目

平成13年は「福祉工場」「通所授産施設」「共同作業所」を足した数値。平成18年は「通所授産施設・共同作業所など」。

*4 平成9年、13年は「とくにふさわしいものはない」を含む



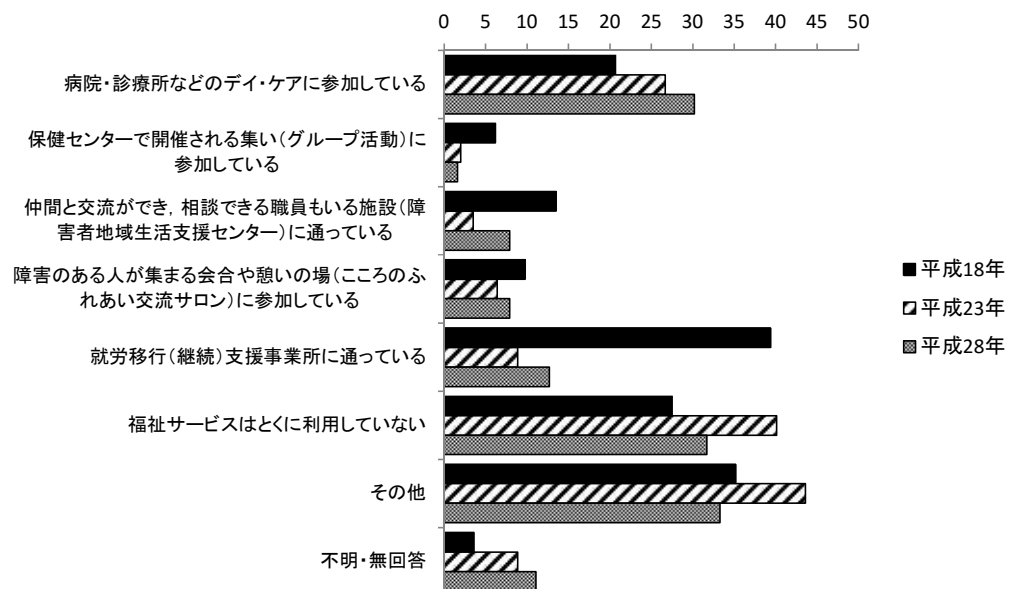
本人の日中の過ごし方（複数回答）は、「その他」が33.3%で最も多く、次いで「福祉サービスはとくに利用していない」が31.7%、「病院・診療所などのデイ・ケアに参加している」が30.2%などとなっている。

問16 日中の過ごし方（複数回答2つまで）

（単位：％）

	平成18年	平成23年	平成28年
病院・診療所などのデイ・ケアに参加している	20.7	26.7	30.2
保健センターで開催される集い（グループ活動）に参加している	6.2	2.0	1.6
仲間と交流ができ、相談できる職員もいる施設（障害者地域生活支援センター）に通っている	13.5	3.5	7.9
障害のある人が集まる会合や憩いの場（こころのふれあい交流サロン）に参加している	9.8	6.4	7.9
就労移行（継続）支援事業所に通っている*1	39.4	8.9	12.7
福祉サービスはとくに利用していない	27.5	40.1	31.7
その他	35.2	43.6	33.3
不明・無回答	3.6	8.9	11.1
合計	156.0	140.1	136.4
n	193	202	63

*1 平成18年、平成23年は「就労移行（継続）支援事業所、授産施設、共同作業所に通っている」



●家族の苦勞

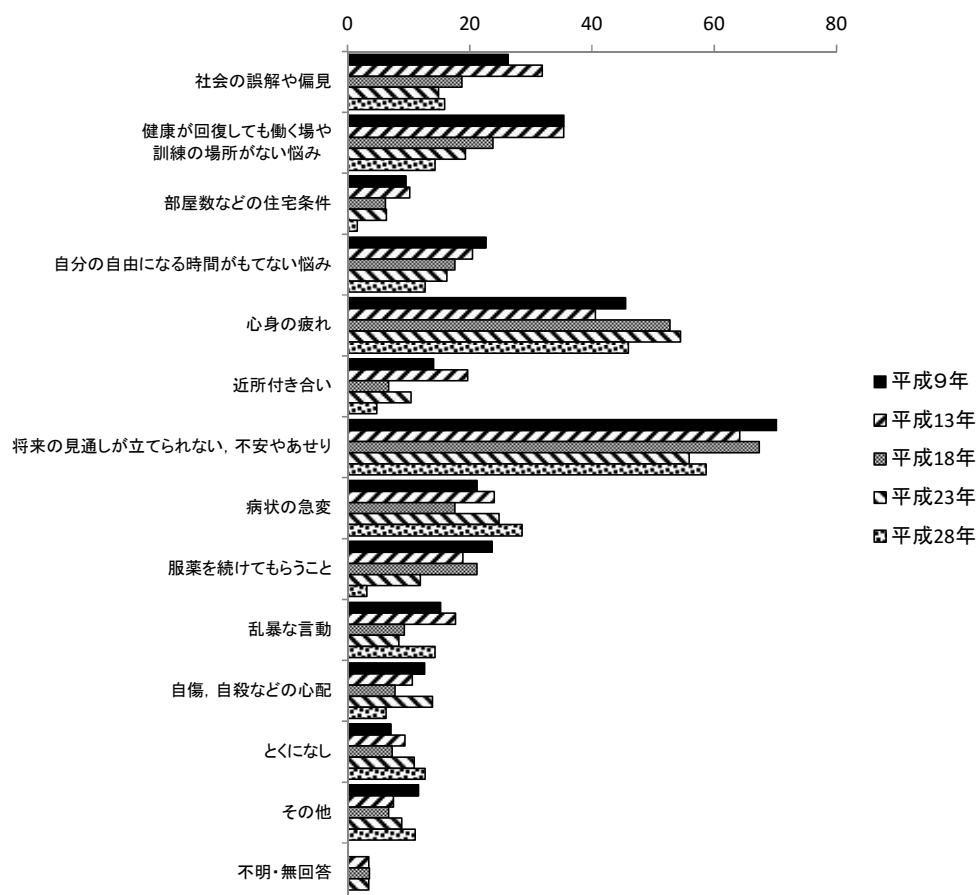
家族の苦勞（複数回答）については、「将来の見通しが立てられない，不安やあせり」が58.7%，「心身の疲れ」が46.0%となっており，この両者の比率が特に高くなっている。

問17 家族の苦勞（複数回答3つまで）*

（単位：%）

	平成9年	平成13年	平成18年	平成23年	平成28年
社会の誤解や偏見	26.3	31.9	18.7	14.9	15.9
健康が回復しても働く場や訓練の場所がない悩み	35.4	35.4	23.8	19.3	14.3
部屋数などの住宅条件	9.6	10.2	6.2	6.4	1.6
自分の自由になる時間がもてない悩み	22.7	20.5	17.6	16.3	12.7
心身の疲れ	45.5	40.6	52.8	54.5	46.0
近所付き合い	14.1	19.7	6.7	10.4	4.8
将来の見通しが立てられない，不安やあせり	70.2	64.2	67.4	55.9	58.7
病状の急変	21.2	24.0	17.6	24.8	28.6
服薬を続けてもらうこと	23.7	18.9	21.2	11.9	3.2
乱暴な言動	15.2	17.7	9.3	8.4	14.3
自傷，自殺などの心配	12.6	10.6	7.8	13.9	6.3
とくになし	7.1	9.4	7.3	10.9	12.7
その他	11.6	7.5	6.7	8.9	11.1
不明・無回答	-	3.5	3.6	3.5	0.0
合計	315.2	314.1	266.7	260.0	230.2
n	198	254	193	202	63

* 平成9年，13年は，あてはまるものをすべて選択



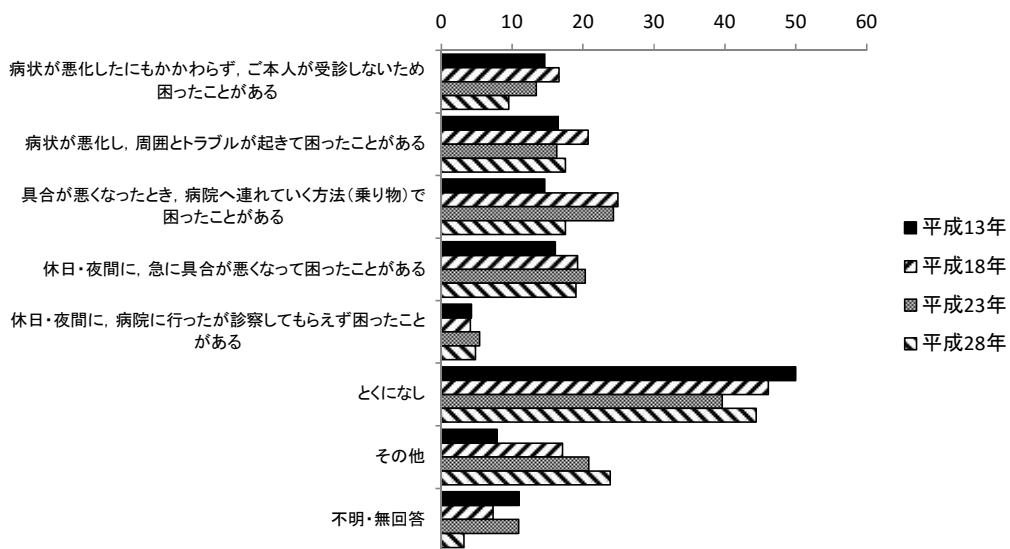
本人の病状悪化時の苦勞（複数回答）については、「休日・夜間に、急に具合が悪くなって困ったことがある」が19.0%、「病状が悪化し、周囲とトラブルが起きて困ったことがある」「具合が悪くなったとき、病院へ連れていく方法（乗り物）で困ったことがある」が共に17.5%、「その他」が23.8%などとなっている。「とくになし」も44.4%を占めている。

問 1 8 病状悪化時の苦勞（複数回答 3 つまで）*

（単位：％）

	平成 13 年	平成 18 年	平成 23 年	平成 28 年
病状が悪化したにもかかわらず、ご本人が受診しないため困ったことがある	14.6	16.6	13.4	9.5
病状が悪化し、周囲とトラブルが起きて困ったことがある	16.5	20.7	16.3	17.5
具合が悪くなったとき、病院へ連れていく方法（乗り物）で困ったことがある	14.6	24.9	24.3	17.5
休日・夜間に、急に具合が悪くなって困ったことがある	16.1	19.2	20.3	19.0
休日・夜間に、病院に行ったが診察してもらえず困ったことがある	4.3	4.1	5.4	4.8
とくになし	50.0	46.1	39.6	44.4
その他	7.9	17.1	20.8	23.8
不明・無回答	11.0	7.3	10.9	3.2
合計	135.0	156.0	151.0	139.7
n	254	193	202	63

* 平成13年は、あてはまるものをすべて選択



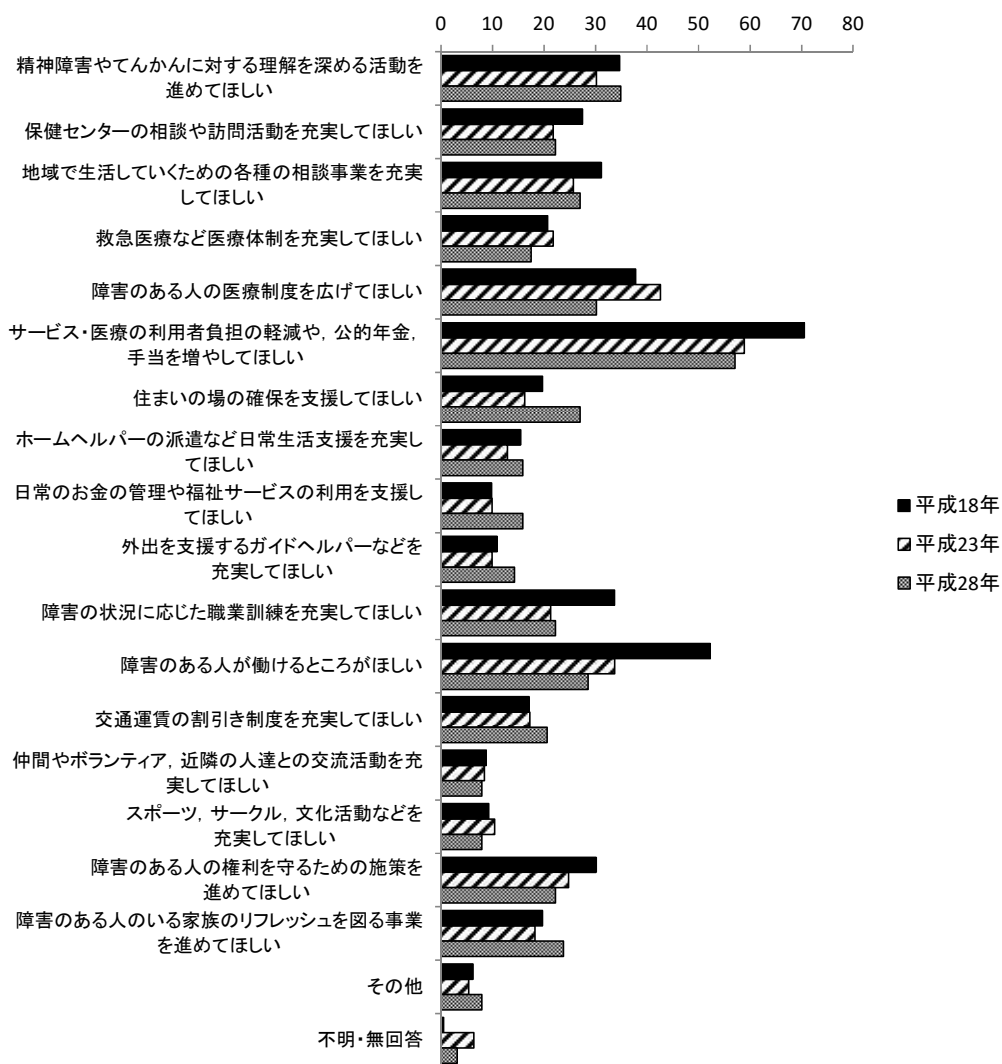
●福祉施策への要望など

福祉施策への要望（複数回答）では、「サービス・医療の利用者負担の軽減や、公的年金、手当を増やしてほしい」が57.1%で最も多く、次いで、「精神障害やてんかんに対する理解を深める活動を進めてほしい」が34.9%、「障害のある人の医療制度を広げてほしい」が30.2%、「障害のある人が働けるところがほしい」が28.6%などと続いている。

問20 福祉施策への要望（複数回答5つまで）

（単位：％）

	平成18年	平成23年	平成28年
精神障害やてんかんに対する理解を深める活動を進めてほしい	34.7	30.2	34.9
保健センターの相談や訪問活動を充実してほしい	27.5	21.8	22.2
地域で生活していくための各種の相談事業を充実してほしい	31.1	25.7	27.0
救急医療など医療体制を充実してほしい	20.7	21.8	17.5
障害のある人の医療制度を広げてほしい	37.8	42.6	30.2
サービス・医療の利用者負担の軽減や、公的年金、手当を増やしてほしい	70.5	58.9	57.1
住まいの場の確保を支援してほしい	19.7	16.3	27.0
ホームヘルパーの派遣など日常生活支援を充実してほしい	15.5	12.9	15.9
日常のお金の管理や福祉サービスの利用を支援してほしい	9.8	9.9	15.9
外出を支援するガイドヘルパーなどを充実してほしい	10.9	9.9	14.3
障害の状況に応じた職業訓練を充実してほしい	33.7	21.3	22.2
障害のある人が働けるところがほしい	52.3	33.7	28.6
交通運賃の割引制度を充実してほしい	17.1	17.3	20.6
仲間やボランティア、近隣の人達との交流活動を充実してほしい	8.8	8.4	7.9
スポーツ、サークル、文化活動などを充実してほしい	9.3	10.4	7.9
障害のある人の権利を守るための施策を進めてほしい	30.1	24.8	22.2
障害のある人のいる家族のリフレッシュを図る事業を進めてほしい	19.7	18.3	23.8
その他	6.2	5.4	7.9
不明・無回答	0.5	6.4	3.2
合計	455.9	396.0	406.3
n	193	202	63



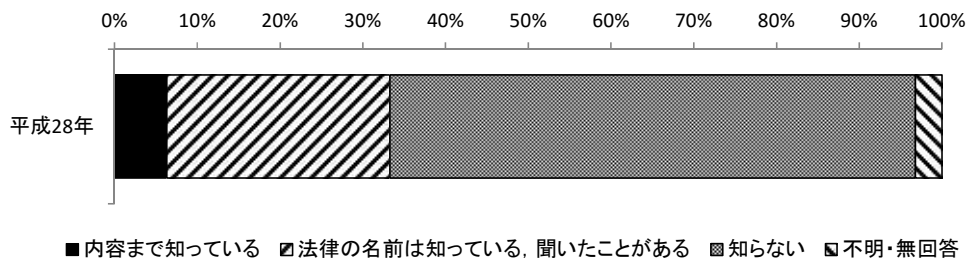
●障害者差別解消法の認知

障害者差別解消法の認知については、「知らない」が63.5%で最も多く、次いで「法律の名前は知っている、聞いたことがある」が27.0%、「内容まで知っている」が6.3%となっている。

問 2 1 障害者差別解消法の認知

(単位：%)

	平成 28 年
内容まで知っている	6.3
法律の名前は知っている、聞いたことがある	27.0
知らない	63.5
不明・無回答	3.2
合計	100.0
n	63



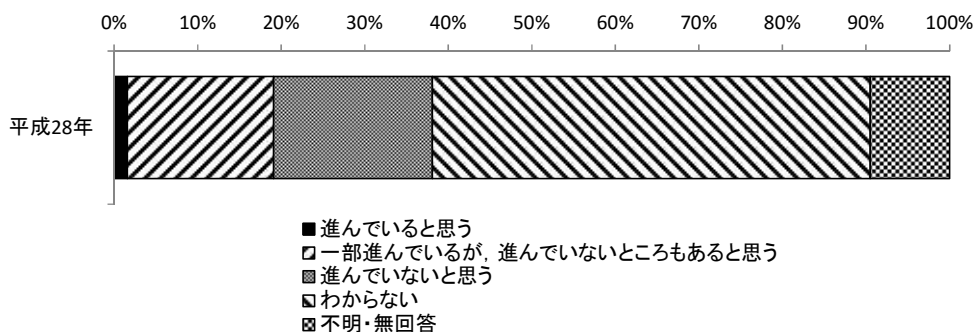
● 「支えあうまち・京都ほほえみプラン」の進捗状況

お互いに認め合い支え合うことの必要性の啓発については、「わからない」が52.4%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が19.0%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が17.5%、「進んでいると思う」が1.6%となっている。

問2 2-1 お互いに認め合い支え合うことの必要性の啓発

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	1.6
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	17.5
進んでいないと思う	19.0
わからない	52.4
不明・無回答	9.5
合計	100.0
n	63

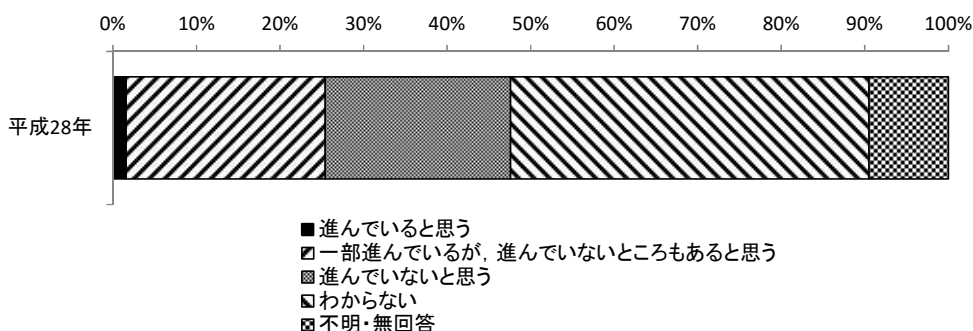


障害児者の地域生活を支える福祉サービス等の基盤づくりについては、「わからない」が42.9%で最も多く、次いで「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が23.8%、「進んでいないと思う」が22.2%、「進んでいると思う」が1.6%となっている。

問2 2-2 障害児者の地域生活を支える福祉サービス等の基盤づくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	1.6
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	23.8
進んでいないと思う	22.2
わからない	42.9
不明・無回答	9.5
合計	100.0
n	63

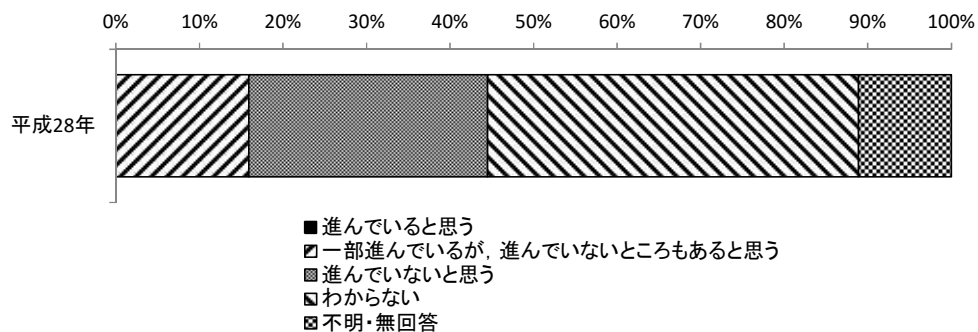


多様な相談に対応できる体制の整備と関係機関の連携体制づくりについては、「わからない」が44.4%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が28.6%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が15.9%となっている。

問 2 2 - 3 多様な相談に対応できる体制の整備と関係機関の連携体制づくり

(単位：%)

	平成 28 年
進んでいると思う	0.0
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	15.9
進んでいないと思う	28.6
わからない	44.4
不明・無回答	11.1
合計	100.0
n	63

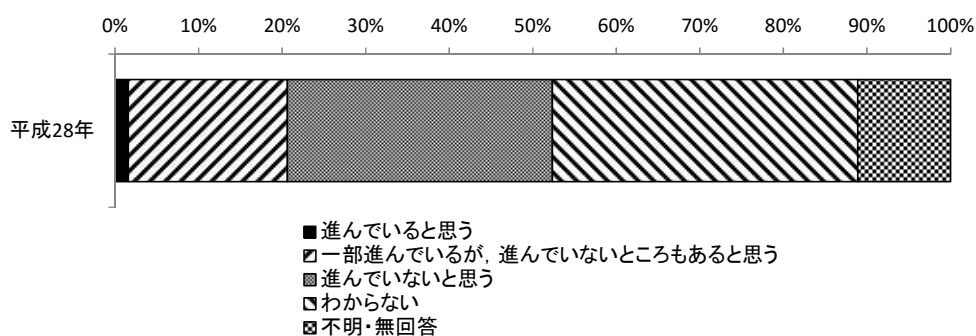


精神疾患・精神障害のある人の治療から地域生活までの支援体制づくりについては、「わからない」が36.5%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が31.7%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が19.0%、「進んでいると思う」が1.6%となっている。

問 2 2 - 4 精神疾患・精神障害のある人の治療から地域生活までの支援体制づくり

(単位：%)

	平成 28 年
進んでいると思う	1.6
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	19.0
進んでいないと思う	31.7
わからない	36.5
不明・無回答	11.1
合計	100.0
n	63

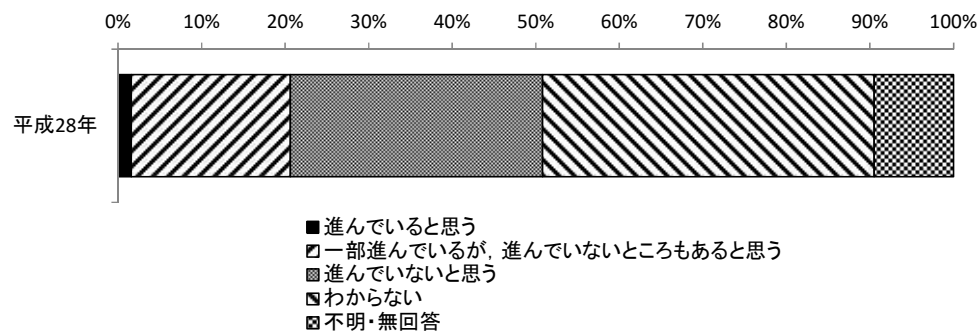


一般就労から福祉的就労までの就労支援ネットワークの構築については、「わからない」が39.7%で最も多く、次いで「進んでいないと思う」が30.2%、「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が19.0%、「進んでいると思う」が1.6%となっている。

問22-5 一般就労から福祉的就労までの就労支援ネットワークの構築

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	1.6
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	19.0
進んでいないと思う	30.2
わからない	39.7
不明・無回答	9.5
合計	100.0
n	63



人にやさしく安心・安全なまちづくりについては、「進んでいないと思う」と「わからない」が同率の31.7%で最も多く、次いで「一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う」が22.2%、「進んでいると思う」が1.6%となっている。

問22-6 人にやさしく安心・安全なまちづくり

(単位：%)

	平成28年
進んでいると思う	1.6
一部進んでいるが、進んでいないところもあると思う	22.2
進んでいないと思う	31.7
わからない	31.7
不明・無回答	12.7
合計	100.0
n	63

